

「アジア青年の家」プログラム

	主なプログラム	場 所
開会式 (8月6日)	・基調講演 ・レセプション	沖縄コンベンションセンター (宜野湾市)
第1ステージ (概況を学ぶ) (8/6~8/10)	・環境問題の概略について講義 ・環境番組の視聴 ・県内視察(首里城、平和祈念公園等) ・ハーリー競漕(糸満市内)	県立糸満青年の家
第2ステージ (自然環境を体験する) (8/11~8/15)	・シュノーケリングツアー ・漂着ごみ実態調査 ・珊瑚礁に関する講義 ・キャンプファイヤー	国立沖縄青年の家 (渡嘉敷島)
第3ステージ (環境と科学技術) (8/16~8/21)	・一流科学者による講義 ・県内研究機関等訪問 ・企業の取組紹介 ・美ら海水族館見学 ・伝統文化体験	県立名護青年の家
ホームステイ (8/21~8/23)	・バイオエタノールプラント見学 ・農業体験等	伊江島
第4ステージ (成果構築) (8/24~8/27)	・成果発表に向けた取組み ・宮古総合実業高校の取組紹介、交流 ・科学者シンポジウム ・県内高校とのディスカッション	県立糸満青年の家
閉会式 (8月27日)	・成果発表 ・参加者へのメッセージ ・レセプション	万国津梁館(名護市)

「アジア青年の家」について

(URL <http://ayepo.go.jp>)

内閣府沖縄担当部局では、「アジア青年の家」事業について、本年8月の実施に向け、準備を進めているところです。

この事業は、沖縄の若者と沖縄以外の日本の若者、そして、ASEAN諸国を中心としたアジア各地の若者が東アジアの中心に位置する沖縄に一堂に会し、一定期間の共同生活の中で優れた科学者や技術を目の当

たりにする等の共通体験などを経ることにより、将来イノベーションを起こす原動力となる人材を育成することを目的としたものです。

本年度は、8月6日(水)から27日(水)までの約3週間、意欲あふれる日本及びアジアの若者75名(沖縄県15名、沖縄県以外の日本30名、アジア各国から30名)が、「環境」をテーマに企画されたプログラムに参加し、

体験・学習を行います。

プログラムは、約3週間の日程を4つのステージに分け、県内各地の施設や自然を舞台にして実施されます。

環境問題に関する専門家による講義やフィールドワーク、一流科学者による講義、科学者シンポジウムなど、多岐にわたるプログラムが盛り込まれています。

また、沖縄の伝統文化や生活に直に触れる機会として、ハーリー競漕、伊江島でのホームステイや農業体験なども盛り込まれています。

なお、日々のプログラムの内容や実施状況などについては、「アジア青年の家」公式サイトを開設し、画像や動画などを交え、リアルタイムに情報発信していきます。こうした情報発信を通して、参加者のみならず、全国の意欲あふれる若者や多くの方々に、これらのプログラムの内容に少しでも触れてもらうことができるように工夫してまいりますので、ぜひご覧ください。

かりゆしウェアの普及・促進について

クールビズが始まった6月6日(金)、福田総理、町村官房長官、岸田沖縄担当大臣を始めとする全閣僚が、昨年に引き続き、かりゆしウェアを着用し、閣議に臨みました。

また、内閣府沖縄担当部局が所在する庁舎(東京都内)におけるかりゆしウェア展示販売会の開催(5月27日)、職員による積極的な着用、普及協力の呼びかけなど、クールビズの一例としてかりゆしウェアの普及に努めています。



かりゆしウェアを着用する大臣ら(国会内大臣室にて)
提供: 内閣広報室